

銀の茶托

たかとう匡子

カット／石阪春生

JR三宮駅と神戸駅をつなぐ高架下商店街モトコウを歩いている
扇風機 小型テレビ 炊飯器 荒
ゴミ回収置場に似た店の前 どれ
でも千円と書いてある△いやあ
港に船が入らな あきまへん▽ジ
ャンパーの男の背中が見える 売
れるかと聞いたのだらう△外国船
ですわ 二か月に一回やけどこ
れ全部 のうなります▽不良品で
ない証拠のように放映している店
頭のカラーテレビの画像は鮮明だ
通り抜けようとして 横手の店の
骨董品に眼がいく | 銀の茶托
一つ三千五百円也 釘づけになっ
ていた こすると鱗粉のようなも
のが舞い立ち 指先は銀色に汚れ
た 毒見の用途を思い出している
△戦前のものでっせえ▽店の奥か
ら声が届く



は、い、さ、く、あ

随想 二題



SIGHTSEEING KOBE 8.

有馬・入初式

終荷

田中美穂

〔画家〕



お酒のお話しになると、なぜか私のところに廻って来る様な気がする。十年一昔と云うけれど、ひと昔前どころか、もともとと遠い過去のような気がする。(様な気がするのではなく、私がお酒と付き合うようになった切掛は今でも心の奥深くにしみ込んでいる) その時もここに書かせていただきましたから。

あれから幾とせか、年を重ねてきてお酒の飲み方も少し変わって来ましたが、でも、矢張りお酒は私にとっては、大切な、大切な友であり、生命の水に変わりはない。

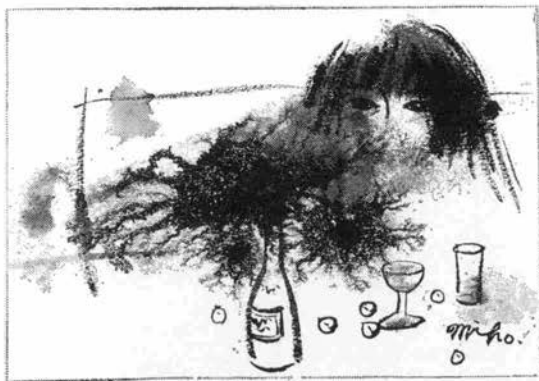
美穂華と云う小さなスナックを始めてから「石の上にも三年」と

云うが、美穂華はこの三月には、その三年を迎える。

見かけによらず人見知りで、口ぶちようなほうだから(だから身を削って迄も絵を描いているのだと思う)お客様がおいで下さる迄に、少し飲んで気持をほぐしておかないとどうしても口が重くて……こんな愚直な私が、お店をやって行けるのも長年の友人や、知人の御陰だと心より感謝致しております。

それにしても、カウンターの内側からは今迄思っても見なかったほど、お酒はいる程に、その人、その人の癖や性格がすくく見えてきて、おかしいやら、楽しいやら困惑すらすることがある。

おしほりで手をふきながら「さあー帰ろう」まだビールもついでないのに……歌い終ってマイクを置いたばかりなのに「一曲も歌ってない」ほんとうはもう五、六



田中美穂先生、書き下ろしの作品。

曲は歌っている。同じ歌を何度も何度も歌う人「今日はまだ歌ってないもの」酔うとかならず幼なごの様に? オッパイを恋しがる人、ネクタイで口を拭く人、ここには書きづらいことなど、など……ひとり、ひとり違うようにひとり、ひとりらしく
お酒と悲しく
お酒と淋しく
お酒と仲よく
お酒と楽しく
それにしても誰かが歌う「とんぼ」の詩の中に「トンボが舌を出して笑ってらあー」ってあるけど、あのトンボの舌ってどんな舌をしているのかしら。

酒に想う

金丸雅博

《金丸建築設計
室》



人はよく何かの時に人生の中で
お酒を飲む人間とそうでない人
とはどちらが良いのだろうかと
話し合うことがあります。酒の

好きな人間には飲まない世界はま
ったく想像がつかず未知の世界の
です。今まで生きてきた中で出会
った人のことを考えると、その時
々にお酒がかかわっていることが
思いだされます。もしあの時にあ
の場所に行ってお酒を含んでい
なければ今の語らいは無かったと思
うと、感謝の気持と不思議さを感じ
ずにはいられません。

極論ですが私的に言えば友だち
を作る為にお酒の役割は重要なポ
イントであり、より酒が強く人を
結び付けるものだと言信していま
す。

反面失敗談も数多くあり、今思
いだしてみるとあまり頭に浮ばず
人間とは勝手なものです。お酒
の好きな人間は悪いことを酒の性
にかこつける所がありこれが飲ま
ない人に嫌がられるゆえんである
ことがわかりつつ飲まずにはいら
れない所もあります。

そこで映画の一シーンにあるハ

イカウンターのバーの止まり木に
一人でグラスを傾け、肩で男の哀
愁を物語っている様なカッコ良い
酒の飲み方が出来ないものかと挑
戦してみましたが無理なことは身
体によくないと悟り挑戦は取り止
めにしました。かすかな希望を少
し残して…。

私は幸か不幸か仕事でお酒を呑
む所の設計をすることがあって、
常々自分が楽しく飲める「酒場」
を持つことが必要だと力説してお
り、普通考えることには、お金を
払って自分で飲んでいる意識が強
いのだけれど自分の為に酒場を育
てて楽しく飲める様
に努めています。皆
さんも是非努力して
みて下さいきっと楽
しくなること受合
います。何故かと言
うと酒好きの人は何時
もかつつも飲んでい
るのでなく、特に
一人家に居る時など
は案外と飲まないと思
うし、長時間飲ん
でいる場合には友が
いて、語らいがあり、
酒を飲む場所、これ
が三大要素だと言っ
ても過言ではないと思
います。

もう一つ酒の良い



お酒が縁で知り合った仲間達。素敵な出会いもお酒の力。

所を言えば、結構お酒の力を借り
て、自分自身の普段人に見せない
部分があることに気付いたり、自
分の本音がわかることもしばしば
ありハツとすることは私だけでは
ない様に思われますがいかがです
か。

唄の文句ではないですが、「酒
に心があるならば胸の悩みを消し
とくれ」とある様に酒の力は強い
自分自身の味方として、つき合っ
て行きたく思っており「酒ありて
楽しきかな人生」といきたいもの
ですがまずもって健康第一。

△その150▽

神奈川県立(鎌倉)近代美術館

——再訪の新鮮な思い出づくり——

嶋田 勝次

△神戸大学建築学科教授▽

ている。

日本晴れの秋の一日、久し振りの上京の合い間を見つけて、鎌倉へ出掛けることが出来た。相変らずの美術館巡りの一つなのだがそれに回顧趣味まで加わっている。それというのも鎌倉八幡宮の境内の一隅にある鎌倉近代美術館を訪ねたことからである。

昭和二十六年十一月、日本で最初の近代美術館として開館してから四十年が経過しているが、その間多彩な美術館活動を展開して来

建築自身は戦後直ぐでもあり、そんなに立派な建築材料が沢山あったとも思われなかった時代だったので、気にもなっていたが、四十周年ともなるので、大分改装されたとのことである。

鎌倉の街はこの日も行楽シーズンであり、修学旅行の生徒達と中年の観光客であふれ返っていたのだが、この美術館の中は静かで豊かな空間であった。

展覧会は開館40周年記念と銘打って、私の好きな画家「松本竣介」と30人の画家たち展」が開催中であつた。

この建築は鉄骨構造二階建てのロの字型平面で、その二階部分が美術展示の空間となっており、一階の真中の吹抜部分の地上には当初はイサム・ノグチの石造彫刻が地蔵さんのように真中に置かれていたことが思い出されて来る。

この建築の設計は、日本の近代から現代の建築を推進して来た坂倉準三氏である。私自身学生時代にこの作品に接して、そのプランニングからデザインまで一貫して筋を通した新鮮な感覚を持つことが出来たことが嬉しくなり、卒業

設計製作の参考としたものである。

この旧館の直ぐ横に昭和四十一年展示室や収蔵庫などが鉄骨造二階建てで増設された。古いものと分離しながらうまく調和した形となっている。

更に昭和五十九年に現在地から離れたところに北鎌倉に向って約三百米の地に別館が新築された。この新館の設計は、大高正人氏である。シンメトリー二階建の小品ながら、玄関前に神戸出身の彫刻家柳原義達先生の「犬の唄」と称される女性立像が置かれている。大高氏自身神戸楠公さん横の南北道路の彫刻の道を設計した人であり、都市空間のレベルアップに尽されて来た方である。

人のつながりを見ると、次々と思われて来るものとして、「松本竣介展」の中で展示されていた「建物(青)」(昭和23年5月)があつたことである。この作品目録のうしろに大川美術館蔵とあつたし、年譜の最後には松本は6月心臓衰弱のため死去(昭和23年36歳)とあつたことも含めて、単なる奇遇とも思われなくなつて来た。

大川氏はダイエー重役をされていた当時、二十数年も前だったが御一緒にヨーロッパ旅行をして同室に宿泊した時に美術のことについて話しをお聞きしたが、その後枚方のお宅にお邪魔して、日本の美術について熱っぽく語られた一人に松本竣介のことと橋の絵を見せていただいた。NHKで氏が信州で大川美術館をつくられたことを知り、訪問の機会を得たいと新しく思うこの頃となつた。



神奈川県立(鎌倉)美術館

着る宝石 オフ・シーズンのケア。



Good-bye Fur

豪華な毛皮もそろそろオフに入ります。ところがこれがちょっと気難し屋さん。私たちの髪の毛と同じように脂肪分があり、1回の外出でもかなりのほこりや湿気を吸い込んでいます。毛並のツヤや柔らかさをキープするには、いたわるようなアフターファッションが必要です。



Since 1933

本社/神戸市灘区肥田町1丁目2-16

■大阪支社/06-853-1332 ■つかしん/06-420-3754 ■ロープ・ニシジマ/078-332-2440
■山手店/078-221-2440 ■宝塚/0797-72-0810 ■リフォーム・フルフル/078-221-9110



SAMOTO CLINIC



ママといっしょに



赤ちゃん: 中末 千晶ちゃん(平成3年9月25日生)

ママ: 真弓んさ

「元気で明るく優しい女の子に育ってね。」

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15

☎575-1024(病室☎576-9639)

市バス上沢4停南スグ

エッセイ 風土と文学 田麿 新

姫路市が市政百年の記念事業として、昨年四月に西日本では初めての文学館を建設した。設計は、いまや世界に名をはせる安藤忠雄氏で、姫路城を借景にしたポストモダンな建築は、町の周辺環境を生かした新しい名所として注目されている。

姫路城周辺には、北側に市立美術館、県立歴史博物館や図書館、さらには日本城郭研究センターといった多彩な文化施設が整っている。白鳥のいる堀をめぐる散策コースをさらにすすみ、船場川を渡った西に開館した文学館が加えられ、姫路もいよいよ文化都市宣言のできる基礎が固められたといえそうだ。

ふりかえれば播磨の歴史は古く、それだけに文化交流もさかえ、豊かな文化をはぐくんできた。華麗な雄姿をいまに伝える姫路城も、そうした永い歴史上の文化を熟成させた象徴として十分にその価値が生かされている。

そうした古代から近代に至る郷土にかかわった姫路近郷の出身者である学者や作家たち十名の業績が、文学館の主流な展示テーマになっている。

まず常設コーナーを紹介してみよう。玄関を入ると播磨風土記がひかりと解説を併せた絵巻物さながらに古代歴史を曼荼羅調にひも解いてくれる。

一階には史料編纂事業をなしとげた先駆者の三

上参次、医学博士で歌人でもあった井上通泰、日本民俗学の父といわれる柳田国男、仏教史研究者であった辻善之助、哲学者の和辻哲郎。二階には詩人の有本芳水、歌人の初井しづ枝、作家の阿部知二、椎名麟三、そして学生歌人で夭折した岸上大作ら近代以後、播磨が輩出した先人たちの肉声やビデオも設けられ、生涯でなしとげたそれぞれの偉業にふれることができる。

一階から二階へはゆるやかなスロープが回廊式に設計され、クルマ椅子でもゆったりと見学が味わえる工夫はありがたい。

その他二階には企画特別展示室があり、開館記念の和辻哲郎展、姫路の城主であった酒井宗雅展、そして播磨文芸祭として昭和二〇年代の播磨の文学運動「焼け跡のルネッサンス」など地元文芸人たちとの共存が、こんごの文学館の生き方を示唆している。

三階には二百名は入る講堂があり文化講演などの催物が開かれる。その東側の大型ガラス窓から姫路城が一望でき、四季折々の風景が愉しめる。

疲れれば二階の喫茶室でいっぶく。館外を流れる人工の川も見下ろされ、西側高台には竹藪のある純和風建築もあって、お茶会に名月会の宴にも利用できる。

文学館も開館以来、全国から見学者が来姫し入

場者数も予想を上回ったと聞く。

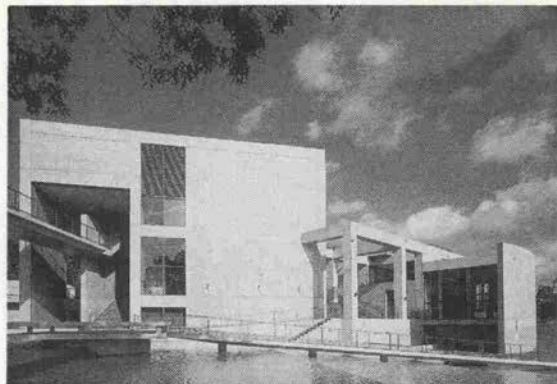
★椎名麟三との出会いが生涯の勉強に

筆者が文学館にかかわったのは、常設展示されている椎名麟三（一九一〇〜七三）に学生の頃に出会い生涯の知己になれたからだ。戦後文学を語るとき椎名の存在は無視できない。実存文学の旗手であった椎名にも暗い哀しい少年期があった。姫路中学（現西高）三年生のとき家庭の事情で家出。それ以後故郷をうらみ二〇代で人生の辛酸を嘗める体験が、やがてドストエフスキーにめぐり合い独特の文学『深夜の酒宴』『自由の彼方で』『美しい女』などの名作を生む。

筆者は椎名と同じ小学校区内に育ち、生ぐさい文学青年だった。やがて椎名と文通し、故郷を捨てた筈の椎名を三十年ぶりに母の里書写へ呼び戻す結果になる。それ以後、没後も含め三十余年椎

名文学を顕彰するために文学碑を建立したり、神戸で文学展を開いてきた。そして命日三月二八日には「自由忌」なる集いをもち協力者とともに椎名文学の継承を願っている。そして、来年は没後三〇年。数ある戯曲作品の上演を企画したいものだ。

洗礼をうけた椎名と関係する「たねの会」の十名が、関東から昨秋文学館を見学。その案内を引き受け、椎名の生家や書写山頂の文学碑にも回遊することができた。札幌から参加の人からは椎名にかかわる足跡のきめこまかな解説を喜んでもらい、「風土と文学」は常に文学の主題で、椎名文学で不可欠であった「出奔」のモチーフが理解でき大いに資するものになったと礼状があいついだ。姫路にとって本格的な文化都市をめざす意欲がようやく全国にひろがってゆく気がするのである。



▲モダンな姫路文学館。安藤忠雄氏のデザイン。

▼姫路城を背景に文学館見学の「たねの会員」と。



■エッセイ

私と神戸 10

風に舞う酒

横塚 繁

〔画家〕

絵／灘本唯人

上野の美術学校へ通っていた頃の東京は、食糧難に住宅難、友人の弁当をわけてもらい飢えをし
のぎ絵筆を握っていたが、いよいよどんづまりに
なると生まれ故郷ではなく、別の神戸を目ざし
た。D社に勤めるいささか話のわかる遠い遠い親
戚のおじがいて、その愛人が多聞通りの中程にす
き焼屋をやっていた。その店に駆け込んで、い
ろいろと御馳走になった。だんだん図々しくなっ
て、酒やビールを持出し、知りあった女性を連れ
て夕闇の須磨の海岸へ行き、熱い酒もりをした。
すぐ後をゴーと通り過ぎて行った列車の響きが耳
に残る。意地悪い酒のはじまりである。

日支事変の頃は平野小学校にいて、この学校の
第一回卒業生小磯良平寄贈の踊娘の画を講堂の壁
面に仰ぎみては懂がれ、朝日新聞連載小説「新
雪」の田村孝之介挿画を見ては懂がれて、東京美
術学校に入ってしまった。が、直ぐに逗子にあっ
た武山海兵団に動員された。ここでは、毎日敵の
飛行機や戦車の図や来たれ海軍へなどのポスター
を描かされ、夕暮れ早々ビールや酒が出て、警報

何のその、飲めや歌えが始まった。病棟の看護婦
さんが赤チンで染めた口元をほころばせて卵や砂
糖をさし入れてくれたのを思い出す。ここで酒の
旨さをしみじみと覚えた。

進駐軍もいなくなり、世の中が次第に落ち着く
頃、東京では売れないのに神戸では知人もいたお
かげで絵が売れた。

摩耶山に登り、まだ荒れ放題のホテルのそばで
真暗くなるまで写生して、電車のいないケープル
カーの黒々と薄気味悪く下界にのびる線路上を脅
えながら下山したものだ。住んでいた東京三鷹の
三軒長屋を買い取る意気込みで頑張ったが、結局
友人に汽車賃をかりて東京へ帰る始末となった。

その頃、近くの上水で太宰治が心中した。

銀座のネオンも賑やかになり、すえた匂いのす
る新宿裏や新橋裏のカストリ時代から、ハイポー
ル時代になって行った。だが落ついて仕事の出来
るアトリエも無く結局挿画の仕事が次第に多くな
り稼いでは遊び、ニューフェイスなどと呑み歩い
た。真紅の爪やくぼんだ横顔にみだれる髪の影響



どに心をうばわれた。一寸、どぶくさかったが元町駅の地下街、三ノ宮の裏あたりにあったシルバームーンという店によく行った。新聞社の人達や作家の方々とも呑み友達になった。この店にすごい美人ではないが女学生のような純な人がいて仲よくなった。雨の夜、芦屋の彼女の家で御馳走になった。卓上フライを食べていると突然御亭主が帰って来て、「君は彼女と結ばれるだろう」などといわれて腰を抜かした。帰る時、雨夜に墨絵のように連なる六甲連山をふり仰いで彼女の一寸くずれた裸体像を思い描いた。

東京の女性もよく神戸へ同行した。

神戸そごうでの個展の時も大変だった。イラストぐせがなかなかとれず作品をつくるのに苦勞し

た。徹夜で描いて車に積み込み午前四時出発、居眠り防止のため助手席にバーのママさんを乗せ、まだ東名の無い頃で箱根を越え一号線をひた走り、名古屋からやっと名神に入り、夜の十時頃そごう店に到着、会期中も政治家の秘書などを神戸に連れ込んだ。今思うと、なぜあの時、あのようになたバタバタしたのだろうか、絵の未熟さをカバーするために自分の心にカバーするためだったかも知れない。その証拠に神戸の画家と会ったのもいやだった。しばらくして陳舜臣さんの連載小説の画を大阪の朝日新聞社でやる事になった。

日中戦争の頃の物語りで、水害の頃など古い神戸の街角が出て来て懐しく思いながら描かせてもらった。

連載の終りに近づいた頃、新神戸駅の近くにマンションをかりることにした。画廊の主人との相談もあり。三田や篠山、神戸港などを描くのが目的であったが、これはと思う作品は出来なかった。風呂の無いホステスが風呂に入り来たりしただけだった。

たまにすき焼きパーティーをしたが、一人窓から港の方をスケッチするしかなかった。

三ノ宮も、知り合い楽しい思い出の人達もママさん達も、次々に消えるように居なくなった。港街の香りのする店も次第になくなって行くような気がする。あちらも、こちらも、ビルバーになっちゃったからかも知れない。こちら知らぬ間に年を重ね、昔のように呑めなくなった。神戸へ行く回数もぐんと少なくなった。たまに行っても、画廊の主人か「神戸っ子」の小泉氏と食事をするぐらいになってしまった。

神戸 ジャズ物語

MY BLUE HEAVEN

原案・末廣光夫

脚本・松田伸二

演出・夏目俊二

神戸——開港以来、エキゾチックな雰囲気あふれるハ
イセンスな港町として様々な角度から注目を集めてきた
ところ。
この街は、あらゆる物事、現象の発祥地でもある。
「映画」「ホテル」「カラオケ」「ラムネ」「缶コーヒ
ー」等々、数え上げればきりが無いほどの物がここ、神
戸から全国に広まっていくことになった。その中でも特
筆されるもの——そう、それがジャズ。
神戸にて初のプロのバンドが誕生。
その明るいリズムは、鮮烈に人々の心を捉え、そして
あっという間に国中を魅了していった。今でこそ、すぐ
に口をついて出てくる「スウィング」という感覚、この
感覚はどれほど強烈に人々の心を刺激したことであらう
か。

ところが、その後の日本とえば、みなさん周知のよ
うに、次第に暗い世界、つまり戦争という泥沼へとのめ



左から、

財津一郎さん、瀬戸内美八さん、笹野高史さん

新神戸オリエンタル劇場

2月7日(金)～2月16日(日)

S席 6,000円 A席 3,500円

全席指定(消費税込み)

り込んでいくことになる。そして、人々に新しい音楽の喜びを運んできた「ジャズ」のともったばかりの火が、危うく吹き消されそうになる。

こういった波乱の時期、初めて「ジャズ」の火を灯した人々、そして、その火を何とか灯し続けようと闘ってきた人々。こういった人々は、言わば、世間の裏側で動き続けてきたものにとらえられがちで、表面的には事実あまり知られていない。とても残念なことであるが……

「神戸ジャズ物語」は、こういった大正末期の神戸で実際にあった出来事をもとに、「ジャズ」を愛する人々の姿、音楽、そしてそれらにまつわる数々のエピソードをおりこんで、神戸発のオリジナル作品として上演される物語。

原案は、ラジオ関西の名音楽番組プロデューサーとし



記者会見中の財津さん始め、関係者の方々

て名高い末廣光夫氏。「神戸がジャズの生まれた地であることは知っていても、それがいつどういった形で成されたかは誰も知らない。その辺を事実に基づき、つづったものです」と語る。演出担当の劇団神戸の夏目俊二氏は、「なぜ、ジャズが生まれたのかというところに重点を置くことがポイント。とかく歴史というものが軽視されがちなここ、神戸の街だが、そろそろ、その歴史的な事実を目に向けてみてもよいのではないだろうか」と口にする。

ストーリーは、大正末期、宝塚歌劇団の楽団員として一人のトランペッター井上竜が東京より神戸に招かれるという設定で始まる。まだ下品で粗野な音楽としてとらえられていた「ジャズ」、彼は、歌劇の幕間に、その「ジャズ」を演奏して、歌劇団を追放される。そんな彼を理解できない妻、綾乃。世間の無理解、風当たりの中で挫折感を覚え、孤立し、自信を失っていく井上……。

そんな彼を後ろから支えたのが、大阪のダンスホールのオーナーである河井大伍。同じく、井上を支えた芸者のいち花。

多くの苦難を乗り越え、ついに日本初のジャズバンド「井上竜とチェリーランドオーケストラ」が誕生する。舞台では、バンジョーの音色をしゃみせんで出してみるとか、げたでタップをふむ等、いろんな試みも楽しめる。河井大伍役の財津一郎さんは、ジャズから音楽に入っていた人としても有名であるが、「何か、あまくて、なつかしい思いが湧いてくるねエ」とやる気充分。

その財津さんの歌いあげるスタンダー・ナンバーもじっくりと味わえるステージである。



神戸国際展示場にて

★お弁当の御淡路屋が、
魚崎に新工場を完成
新幹線の駅弁当で有名な
御淡路屋が、今年一月下旬、
魚崎に新工場を完成させ、
新たな発展の段階を登っている。
近代的システムを備えた
工場、ビル全体が清潔感その
もののようである。
阪神魚崎駅より歩いて10
分、六甲アイランドも近い。
新工場：神戸市東灘区魚
崎南町3-18。

★神戸空港第6次
整備計画に入る
12月18日、神戸国際展示
場に於いて、各界各層から
多数の出席者を集めて、神
戸空港報告会が開かれた。
永年の念願であった神戸
空港の第6次空港整備五カ
年計画（閣議決定）を祝い、
今後の活動への新たな想
いを確めあっている。



寺本波路屋社長

KEI — POKE

経済

ポケットジャーナル



KEI — POKE

★アシックスがニュー
シンボルマークを展開中
'92 パルセロナオリンピック
のオフィシャルスポンサー
シューズのスポンサーであ
るアシックスが新しいシン
ボルマークを決定、選手
のウエアに付けるなど、昨
秋から展開を始めている。
21世紀に向けた新生アシ
ックスのシンボルとして商
品や契約選手、また新聞な
どのメディア広告すべてに
使用し、将来的にはグロー
バルマーケティングを推
進するための世界的な統一
マークとしていく予定。
★酒造メーカ沢の鶴が
新しい顔に
CI計画を着実に定着さ
せている沢の鶴が、新し
いシンボルマークをラベル
に使用している。

★K O B E オフィスレディ★ 小田垣陽美さん(23)



〈アサヒビール 神
戸支社勤務〉

グレンデでスキーを楽しんだ夜は、ロッジ
の仲間と「ほろにが」で乾杯するのが最高
ね。とおっしゃる小田垣陽美さんは、行動
的知性派のお嬢さん。ビールが大好き。そ
れも「アサヒ」オンリーだったから、就職
先は絶対アサヒビールと決めていたの。甘さ
をたえた頬にえくぼをつくる。「ほろに
が」——その豊かなコクと上品な味わいは、
おとめ心をしっかりとつかんでいるようで
す。しし座のB型。神戸市在住。

大空を飛び立つ鶴の翼を
象徴。ベースの四角形はこ
れまでに培ってきた安定感
や信頼感すなわち伝統を、
左上に力強く伸びる翼は、
成長への意欲と活力を表わ
している。
また、銘柄ロゴタイプは
旧字体の「澤」から「沢」
の鶴とシンプルでわかりや
すい新字体になった。この
新しいコーポレートシンボ
ルは、国際化時代を見据え
た、日本のあるべき姿を凝
縮したもの。

asics

アシックス

沢の鶴

沢の鶴



杜氏とは、酒を造る職人の頭ですが、酒造りの職人を総称して杜氏と呼ぶこともあります。杜氏の出身地、兵庫県丹波地方は、日本最大の杜氏出身地で、江戸時代宝暦年間における記録が残されているほど。その丹波出身の杜氏の手によって銘酒・小鼓は醸造されています。

兵庫県東上郡市島町中竹田 神西山酒造場 電話0795(86)0331



但馬は、兵庫県北部地方に位置し、冬季は山里で2メートルの積雪をみることもまれではありません。現在約2000人の季節酒造工が全国の酒造場で日本酒の生産に励んでいます。香住鶴の石津六郎翁は但馬杜氏の優秀な技術と伝統を受け継ぎ、労働大臣賞を受賞した名杜氏です。

兵庫県城崎郡香住町香住 香住酒造有限公司 電話0796(36)0029

ダンゴ鼻はどうすればいいの
鼻筋を通すだけで、スッキリした鼻になります。隆鼻術というと「鼻を高くする」というイメージが強いのですが、顔のバランスが大切なのでおやみに鼻だけを高くするわけにはいきません。鼻孔の内側から手術するので傷は分らず、周りの人に気付かれる心配もありません。

コンプレックス
飛んでった

タラコ唇だと
キスしたくないのかしら...?
唇が厚いと口がとがって見えることもあり、上品なイメージからは遠のいてしまいますね。5~6ミリ薄くするだけでノーブルな感じになります。口の中から手術するので傷は全くわかりません。上下単独で手術することもできます。

腫れぼたたい一重瞼って印象悪いのかなアア
糸で2~3ヶ所とめるだけの方法です。20分程度の手術で、腫れもほとんどないので翌日からお化粧もできます。又、一ヶ月以内なら一重瞼の変更に元に戻すことが無料です。

(料金システム)

目 (二重)	鼻 (隆鼻)	唇 (上下)	アゴ	ホクロ イボ	豊胸	脂肪 吸引
片目 8万円	両目 12万円	23万円	25万円	23万円	1コ 1万円~	60万円 40万円~

品川美容外科

神戸078(331)7183

神戸市中央区三宮町1-3-3
小林ビル6階

男性専用 078(331)4102

●東京 ●大阪 ●名古屋 ●福岡 ●鹿児島
●広島 ●京都 ●横浜 ●千葉 ●仙台 ●札幌





新井 満氏（あらいまん）

昭和21年新潟生まれ。上智大学法学部卒業後電通に入社。28歳のとき電通神戸支局へ転動し、日本酒CFの仕事で森敦氏に出会う。「月山」、「ワインカラーのときめき」など多数作曲。また環境ビデオ撮影のため国内各地を巡る。42歳のとき「野ね人の時間」で芥川賞を受賞。最新作にブラハを紀行する綺譚集「カフカの外套」がある。

□酒 特集〈1〉 対談

ゴジラも酒を飲むか！

新井 満〈作家〉VS 大森 一 樹〈映画監督〉

大森 満さんは、東京のどこのあたりで酒飲んでるの。

新井 俺ねえ、会社でマジメに仕事してて（笑）十時、十一時くらいまでも残業やるし、飲む時間ないんだよ。

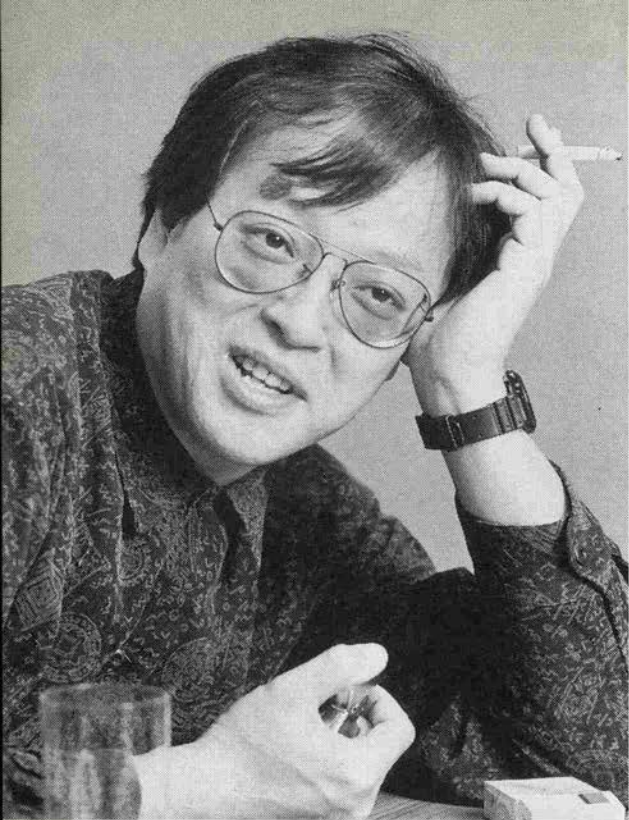
小説は、土日にまとめて書いてるね。ストレスが少したまってるので、飲みたいんだけど……。昔はよく飲んだもんだ。神戸の酒が、やっぱり一番だったね。まだ回顧的になるのは早いかな（笑）。

大森 新井さんに、薩摩道場に連れてもらったよね。「花の降る午後」で神戸にスタッフみんなといったときに、

常飲み屋になって……それから三劇映画館の前の小路をちよつと入った屋台にも……おじちゃんとおばちゃんがやってる。店の名前はわかんないなア（笑）。

新井 薩摩道場は、三宮と私立神港高校の下側に本店があるかな。薩摩揚げが、うまいよあそこは。僕はね、酒だけというタイプじゃないね。必ず何か食い物がないとだめなんだ。

大森 神戸と酒と青春となると、僕らは金盃森井本店につきるね。ルートツやね、あの店からはじまったんや。生



大森 一樹氏（おおもりかずき）

昭和27年大阪生まれ。京都府立医科大学在学中に、「オレンジロード急行」でシナリオライターの芥川賞といわれる城戸賞を受賞。'87年の「恋する女たち」で斎藤由貴を起用、新人女優賞など多数の賞を獲得した。また神戸市制100周年記念映画としても話題となった「花の降る午後」、企画構想6年の傑作「満月」などで巨匠の地位を着実に登りつめている。東宝60周年記念映画「ゴジラvsキングギドラ」が大ヒット中である。

田筋のところだよな。「暗くなるまで待てない」で使わせてもらってね。コの字型のカウンターがあつて……安いよ、みんなでべろんべろんになるまで飲んで、ワリカン、ハイ千円！（笑）今じゃ無理だろうけど。いや値段じゃなくて、あのころの飲み方ができる体力がないの今は……（笑）。懐しいなあ……昔のパワーが（笑）。
新井 今思い出したけど、神戸ハイボールという店があつただろう、朝日会館に。会館も店もなくなつてしまつたね。あのビルは風情があつたよ。映画を観てるとキスシーンでもないのにチュウチュウと声がしてね、変だなと思つて足もと見ると、ネズミが運動会してんだ（笑）。朝日会館の地下にあつてね、殻のついたピーナツが出るんだ。その殻が靴のあたりに飛び散つて……家に帰えるまで靴の先にくっついてんだよ（笑）。玄關先で払つてから、ただいま帰りました……となるんだ。
大森 「風の歌を聴け」でピーナツをカウンターの下に落とすシーンは、神戸ハイボールがヒントで（笑）。落下生の殻を床に落とすというのは、神戸だけとちがう？

お洒落やねエ。
新井 投げやりな感じもするなあ。でも神戸でやるとサマになるね。街に合うよ。東京でピーナツの殻をそんなことすると、殺伐とするね。（笑）乱れ飛び散つたピーナツの殻、これが神戸では風景になる。（笑）
大森 ちょっと話変わるけど、神戸の街のよさって何だろうね。「満月」や「ゴジラvsキングギドラ」の撮影で、札幌、青森、弘前、博多と巡つたけど、やっぱり神戸にはかなわないと感じたんだ……。
新井 神戸の地形が、まずいいんだよ。神戸の坂道だね、あのスロープがなんともいえない神戸の雰囲気をつくっているのね。東京じゃ平坦でしょう。神戸の場合ね、海から海岸通り、三宮筋、山本通り異人館、そして六甲山へと登っていくね。で夜になると、逆に六甲山の裏側から夜の闇が、静かに海へ向かつて降りていく。黄昏色が、そろそろ夜でございすよ（笑）と三つ指ついてね、ひたひたと夜がやってくる（笑）、その *crepuscule*（色あい）がなかなかよろしいのでは……と思うよ。立地

条件の絶妙のよさ、それは大森さんの行った街にはないだろうね。東京は、夜と昼かのどちらかでね、夜の闇が静かに星に浸透していくあの黄昏色がないんだね。夜でもない昼でもない中間領域、あるいは夜でもあって昼でもある、それが誰そ彼どきなんだね。いちばん文学的な時間帯なわけです。灰色の時間かな。白と黒を密かに抱き込んだ時間……になるでしょうか。

★酒のめば 恋もなきけも わかります

神の戸まり木 たそがれどきに

新井 藤原定家にこんな歌がありますよ。

見たせば 花もみぢも なかりけり

浦のとま屋の 秋の夕暮

この「秋の夕暮」が、黄昏のことなんだ。かつては栄華をほこり、青春まっ盛りで、紅葉も錦繡でね、色あざやかな風景があった。それが今やなんにもなくなってしまった、すべてが亡び去ってしまった。「浦のとま屋」つまりね、うらさびれた海岸べりの貧しい漁夫の家があるばかりで、がらんどうの風景になってしまったと、定家はそういう風景を歌ったわけでしょう？ そんな気持ちのときには、酒でも飲まにやね、やつとられん（笑）藤原定家はそんな気持を言いたかったんじゃないのかねエ。

秋の夕暮でボクは酒を飲みたい、そうでないと生きていかねん、そういう心境でしょうね。だからね、強引に黄昏に結びつけるとね（笑）。酒でも飲まないとやってられない時間帯、ということになるわけです。星なら働く、全くの夜なら寝てしまおう、その中間で何かが起こりそうな胸のとぎめきがある時刻なんですよ。

大森 ……？（笑）なんと文学的な！（大笑）僕は、神戸ではミッドナイトが好きだなア。十二時が過ぎ……人が少なくなつてゆく時刻。北野坂辺りの夜は最高だよ。

「花の降る午後」を、ファースト・フライでロケやつたけどね。店の窓から見える風景は、もうサンフランシスコ。スタッフの連中、ほおっと息をのんだよ。ライトを点けた車の流れが、夜の闇に浮かぶ銀河だった。



酒聖 アラマンラー

え/たかはし もう

新井 住むなら外国ではシスコ、日本では神戸だよ。両方とも港街でしょう。それに坂のある街ですね、それでね船乗りがさ、長い航海のはてに上陸するでしょう、そうするとご婦人方が、ことのほか美しく見える（笑）、それで恋が生まれるよね。しかし船員ですから、やがて船は出ていく煙りは残るでさ、恋人が船で去るときにご婦人が見送りにくる。でも平坦な街だとね、恋人はすぐ見えなくなってしまう（笑）それが丘の上だとね、ずっと遠くまで船を見送られる。残ったご婦人はハンカチを

振りながらいつまでも涙を流す(笑) 出会いよりも別れが似合う街、それがシスコであり、神戸であるわけなんだね。うーん、これはなかなかリッパな説明だ(笑)。

大森 卓説です。(笑) 神戸の酒場のイメージと関係するかもしれないけど、港街神戸はバアが似合う感じやね。居酒屋でおでんというんじゃないよ。カウンターにウィスキーの水割り、それとクラッカーとチーズ……という雰囲気は神戸の酒場のイメージやね。

新井 谷崎潤一郎が飲みに行ったとかいうバアにうちの奥さんと昔行ったよ。バア・アカデミーだったか、今でもあるのだろうね。文豪がさりげなく飲んでいたところがある、感慨深いね。キザさかげんがいいのかな。ほかの街でキザやるとアホかなってなるけど、神戸だったら許されちゃうよ。僕は、キザがズボンはいて歩いてる、と言われてるけど(笑)。

大森 僕は、キザに対する憧れがあるね。キザで迫りたい(笑)。生まれは大阪で、大学が京都。だから神戸っ子やないんやな。神戸っ子憧れ派になるかな。

新井 あなたの「ヒポクラテスたち」ね、京都が舞台だけど、大森一樹監督のキザさかげんが自然体で出ている傑作だよ。でも「風の歌——」のほうは、神戸に憧れた分だけ、ちょっと固くなったように思うけどね。僕は新潟の生まれでね、神戸からはかなり離れてるわけ、そうすると神戸の街の全体像がはつきりと見える、ということもあるかもしれない。新潟と神戸では、ちょっと離れすぎかな(笑)。一方大森さんと神戸では、距離が近すぎてね、ほらっ、男と女とがお互いの瞳ばかり見てれば、相手の全体の姿見えてこないもね(笑)。

★神戸は、いつもオン・ステージ!

奈落がなくて、バラエティーに富む街

大森 キザを許してくれる街神戸は、自分の性に合っているのやね。合わない人もいるんじゃないの。僕はバアのあの気取りが好きなんだ。

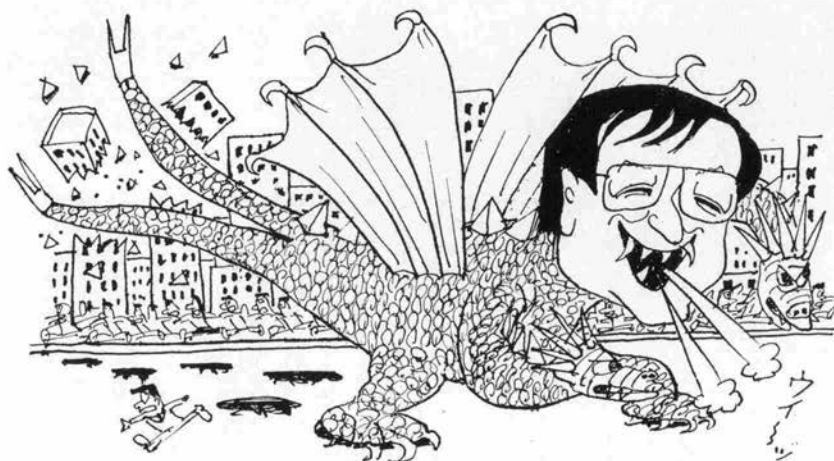
新井 神戸に来なかったら、僕はこんなにキザにならな

かったよ(笑)。

大森 僕の映画は、都会派なんて呼ばれたけど、神戸イコール都会というイメージするね。東京は都会かな?、都市という感じ。都会ってなんやろな。風景としての都会、旧居留地のあたりに都会の風景を感じるね。

新井 コウベ・オン・ステージ! ステージになれる街だ。東京は六本木や青山がそうだけど、ちょっと離れるともう奈落(笑)。

大森 三宮から元町まで行くのにテンション落ちない



酒獣 キングカズキラー

え/たかはし もろ

よ。六本木から青山へ行く途中
「田舎」になるよね。暗いところ
通って……。

新井 体験談をしますとね、レニ
ングラードは街全体がステージだ
ったよ。神戸も圧倒される街だ。

サンクトペテルブルクに改名され
てね、ピョートル大帝時代の名前
に戻ったんだね。レーニンをも抹
殺してしまったわけだ。街を縦横
に運河が流れ、北のベニスと賛美
されて、わずか二百年の都市と
は思われないよ。ニュー・ヨーク
よりも新しい街よ。でも中世の都
市の名残りが街じゅうに漂ってい
てね、これはもう絵になっている
んだ。黄昏が見えるよ(笑)。建物
も高くなく、エルミタージュ美術
館を越すビルは建てないきまりな
んだね。そうすると空が広いん
だ。黄昏の夜の色調、グラデーシ
ョンがくっきり見える。上層から
黒、紫、スカイブルー……とね。

それを眺めていると、一杯やりた
いな、と……(笑)。ウオッカ飲ん
だね。黒、パンのすえたようなにお
いを、犬みたいにクンクン嗅ぎな
がら煩張ってね。神戸の話がどこ
かに飛んじやったな(笑)。

大森 そのペトログラードの小振
りの街が神戸というわけ?(笑)僕
は戦争知らない世代だけど、神戸
は空襲で焼けてしまったからね。
ハーバーランドができると、メリ



＊並列型＊で、たそがれ文化を語る新井さんと大森さん。

ケンパーク通って元町へ出て三宮
へと、この道すじの黄昏を僕らは
楽しむことになるね。神戸の街が
地理的に広くないのが最高のメリ
ットだと思うよ。北野坂から旧居
留地まで歩いていけるもの。だか
ら、バラエティーに富んで、そ
れらを丸ごと、神戸の街全体を享
受できるのやと思う。神戸の街の
魅力は、これやな。横浜も神戸と
同じ要素をもってるけど、それぞ
れが離れすぎてるでしょう？

新井 横浜は、スロープがないの
ね。平なんだ。

大森 横浜球場があるくらいなん
だから。三宮に球場なんか入る余
地ないよ(笑)。

★新井「黄昏ときには、カフカも
外套忘れて飲んだかも」

大森「ギドラを倒した後は、ゴ
ジラも乾杯したかな」

新井 神戸の酒場のイメージで、
バアを大森さん挙げたでしょう。
カウンターがあつて友人と肩を並
べて飲んでる雰囲気……。

大森 映画のシーンでも撮りやす
いんです。考えてみると全部二人
で並んでるなア。「風の歌——」
そうだし……。

新井 ということはね、対話にな
らないわけだね、ひとりごとの応
酬なんだ。だからグチも話しやす
い……。

大森 恋人との別れ話とか、「好き

です」と告白するのも、カウンターを前にして言うときとさうだよ。面と向かつては言いにくい(笑)。

新井 パーテンドーのうしろのミラーを、ときどきチラッときながらね。経験談かな、あなたの?(笑)対峙しない、というのは現代的な人間関係だよ。常に二人で同じものを見る——例えばね、夜月が出てて、恋人二人が歩いてるとする。男が「月が出てるね」。二人で同じものを眺めるわけ。こういう人間関係は、長続きするね。

大森 基本的に現代は、人と人が向かいあっていないんです。時たま向かいあって、一言二言しゃべる。そんな関係の縮図がバーにあるという気がするな。

新井 夫婦も、だんだん対峙型から並列型に変化していきそうですね。僕と女房も、並びながら同じ風景を見てね、それでお互いの顔を眺めるのをやめようと(笑)。大森さんのところは、まだ対峙してるでしょう?。愛を告白しあって、じっとお互いの瞳を見つめ合い(大笑)。

大森 いやもう、そんなことは(笑)並列型に移りつつあります。結婚して十二、三年になりますから。

新井 うちは、もう二十年だからね。二十年を越すと、けっして対峙してはならぬ(お二方、大笑い)。

大森 二人で同じ風景を見て生きていく、というのは積極的な意図を含んだ言葉ですね。二十年の夫婦の生活から出た重々しいものが感じられます(微笑)。

新井 夫婦一緒に旅行へ行ってる、同じ景色なんかを眺めてね。歳とってから、二人で思ひ出話をする。あんなことがあった、こんなことも……と。夫婦の思ひ出作りのために人生後半を生きていく……。

大森 そういう考えは、四十歳が境となって出てくると思いますよ。僕は今三十九、この三月で四十(沈黙)人生八十年とすると四十の歳が山の頂上。そのとき、全体がね、今までの道とこれから先のことが見わたせる感じがね、それとどとど下るしかない……。

新井 峠です(笑)。峠の頂上から今までの紆余曲折、くねくねした苦勞の足跡ははじめて分かる、この残酷さ(笑)。

大森 はるか彼方にゴールも見える(笑)。これが、ほんとの黄昏文化、たそがれ人生やなア……。

新井 酒でも飲まにや。しかし人生後半から、酒がうまくなる。いいゾー、これだから(笑)。

大森 昔は、多聞のコマーシャルなども作ってたけど、まだ本当の酒の味は分かってなかったと反省しなきゃ……。

新井 僕は電通の大阪支局から神戸にきて、僕の最初のプレゼンテーションが沢の鶴で、壇ふみさんと各界の有名人物との対談という企画やりましたね。森敦さんともそのときお会いしたわけです。二子山親方、音楽家の高木東六さん、将棋の内藤国雄さんにも出てもらいました。

神戸では酒のグループに入会してね、バーボンクラブです。二十年ほど前ですよ。バーボン困んで、筒井康隆さんや画家の石阪春生さん、ジャーナリストの宮田達夫さんと松井一郎さん。現在、生田神社宮司でいらっしゃる加藤隆久さん、陶芸家市野豊治さん、デザイナーの中西省吾さん、音楽方面では小曽根実さんと松本幸三さん、彫刻の新谷秀紀さん、榎晴夫さん。日本舞踊の若柳吉金吾さんもいて、クラブの歌も作って楽しみました。

大森 グループ無国籍という飲み仲間連中が、僕にはいて、その中の一人、持田君が外人バー「ボバイ」の後そのままでレティシアというバーを元町に出していますよ。

新井 僕レティシアのレコード出したことあるんだ。アラン・ドロンの代わりに、新井満が日本語で歌ってる。

昔の話だよ。モンタンも死んじまったし、俺は歌ではドロンを越えたい……。これから先は、たそがれ人生ではないぞ。「カフカの外套」も好評だし(笑)。

大森 「ゴジラ」も絶賛上映中(笑)。

新井 ゴジラは酒を飲むかな。五時から出役するからたそがれどきだ。永遠のたそがれ怪獣。酒びたりだよ。

大森 キングコングは飲んでたね。ゴジラにはミミラという子供がいるから、パパゴジラは家へ早く帰ってしまいうよ(笑)。

(北野異人坂にて)

ほろにがを、
ついでください。



まろやかなコクと爽やかなほろにがさ。

アサヒ生ビール
ほろにが

アサヒビール株式会社



SAPPORO

私たちは味わい・ライフを追求します

結局、飲んでる
黒ラベル



サッポロ〈黒〉黒ラベル

サッポロビール株式会社

●未成年者の飲酒は法律で禁じられています。

THE KOBECCO

月刊神戸っ子 31周年 記念パーティご案内

● 第21回ブルーメール賞表彰式

世界の酒祭り

● '92 神戸酒徒番附表彰式

● ショータイム

演出／植田 紳爾

麻鳥 千穂／近衛 真理／瀬戸内美八

“Swing Kobe”

● 恒例チャリティ福引大会他

'92／4月28日(火) PM 6:00 開演

神戸ポートピアホテル偕楽の間(302)1111 会員券 ¥15,000 (神戸っ子倶楽部) ¥14,000

主催／月刊神戸っ子

お申込み／078 (331) 2246 Fax 078 (331) 2795

後援

神戸百店会他